

2月は多文化共生月間

国籍に関係なく、支えあう社会へ

市内には5,000人を超える外国人の方々が暮らし、その数は年々増加しています(平成30年1月現在5,303人)。震災時には言葉や文化の違い、また母国で地震経験がないことから日本人以上に不安や恐怖を感じた外国人の方々が多くいらっしゃいました。

普段から外国人・日本人が支え合うパートナーとして共に作る地域づくりが大変重要です。2月を「多文化共生」月間として、改めて外国人の方々と関わりについて考えませんか。

多文化共生とは

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

様々な分野で活動中!

拠点は
国際交流会館

くらしのほんごクラブ

外国人と日本人がやさしい日本語で交流(中央区・東区・北区で開催)



▲七夕飾り作り
(身近なテーマで日本語交流)

赤ちゃん訪問事業で通訳者同行

子どもが生まれた家庭への訪問事業で、外国人家庭には通訳者が同行



普段から外国人にも暮らしやすい
多文化共生社会づくりを

多文化共生月間イベント

市内で暮らす外国人の様子を知り、多様な人・文化と触れ、学べます。

期 日 2月10日(土)、17日(土)、24日(土)、25日(日)

※パネル展は14日~28日

場 所 国際交流会館

内 容 ・多文化共生写真パネル展
~色んな人たちが暮らす豊かな熊本~
・多文化サロン、世界をよく知るセミナー
・多文化共生シンポジウム

申込み 電話(☎096-359-2121)または電子メール(pj-info@kumamoto-if.or.jp)で国際交流振興事業団へ(パネル展は不要)

※詳しくは、問合せください。

関連イベント

第48回ヒューマンライツ・シアター (無料)
(人権映画会)

日本とトルコの絆を深めた「1890年のエルトゥールル号海難事故」と「1985年のテヘラン邦人救出劇」の2つの事件を通して、人が人を思う気持ちの大切さを描いた作品です。

日 時 2月27日(火)
午後2時~(開場:午後1時半~)

場 所 健軍文化ホール

内 容 「海難1890」(日本語・上映時間132分)

定 員 290人(先着順)

申込み 2月5日から映画会名、氏名、人数、電話番号を電話(☎096-334-1500)かファクス(096-370-2002)またはホームページ(higomaru-call.jp)でひごまるコールへ
※1回の申込みは5人まで。

(人権推進総室 ☎096-328-2333)

(国際課 ☎096-328-2070)



今回は、2017女子ハンドボール世界選手権が開かれたドイツで、来年熊本で開催される「2019女子ハンドボール世界選手権大会」への意気込みを語りました。

【国際ハンドボール連盟(IHF)ムスタファ会長への表敬訪問・記者会見より(抜粋)】



大西市長

熊本では大きな地震が発生し市の施設も大きな被害を受けましたが、大会会場などはすべて復旧しており、復興に向けて着実に進んでいるところです。

2019年の本市での開催に向けて、今回の視察の経験を活かして万全の準備を進めてまいります。また、全ての皆様が満足していただけるような「おもてなし」でお迎えますので、ぜひ熊本にお越しいただきたいと思ひます。

熊本市で開催される「2019女子ハンドボール世界選手権」は、翌年の東京オリンピックにも繋がるものと考えています。世界にハンドボールを発信し、「ここに日本あり」と世界中の方々に認識していただけるように、協力していきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。



ムスタファ会長

【2017 女子ハンドボール世界選手権ドイツ大会閉会式より】



熊本は、歴史、自然、文化などの多彩な魅力があり、そして「おもてなし」の文化が根付いた土地柄です。

熊本にお越しの皆様には、白熱した素晴らしい試合や、心温かな方々との出会いなど、いつまでも記憶に残る経験をご提供できることをお約束します。

私どものスローガンは「ハンド イン ハンド/一つのボールが世界を結ぶ」です。

2019年に熊本で皆様をお迎えできることを楽しみにしております。

「くまもと」で、お待ちしております!

